

第3次古賀市環境基本計画策定にあたっての市民ワークショップの進め方（案）

1. 目的

ワークショップは、市民のニーズを踏まえた、わかりやすくかつ市民に身近な環境基本計画づくりを目指すため、市民の視点により地域の環境課題を把握するとともに、古賀市における望ましい環境像を明確にすることを目的として実施する。

2. 対象者

- ・古賀市在住の市民 10～20 名程度

3. 開催場所

- ・古賀市役所会議室 等

4. 実施スケジュール

- ・実施時期：令和5年1月～3月（全3回を予定）
- ・開催時間：1回あたり2時間を予定

※詳細な時期や時間帯については今後検討予定。

5. 各回のワークショップのテーマ

第1回：古賀市の環境課題や残したい環境を考える

第2回：古賀市の環境に関して「できること」を考える

第3回：新計画で目指す将来像をイメージし、施策を市に提言する

6. グループ構成

- ・参加者3～5人を1グループとして、4グループを構成

※事務局として、全体の司会進行を1人、グループごとのファシリテーター（事務局側の人間でグループ内の進行支援を担う）を1人ずつ配置する。

7. ワークショップの進行案

(1) 第1回：古賀市の環境課題や残したい環境を考える

①趣旨説明、司会進行・ファシリテーター紹介

②アイスブレイク

参加者インタビュー（どういう思いで参加したか、古賀市の好きなどころなど）、グループ内での交流

③第二次計画策定時のワークショップで得られた成果の紹介

現計画の「市民が求める3つの古賀市のあるべき姿」の紹介

④現在の古賀市の環境や市民の環境意識の紹介

今回の市民アンケート結果の紹介。

⑤環境課題や残したい環境の書き出し

大きな模造紙に、グループごとに古賀市の環境に関する良い所、課題を書き出していく。(残したい自然、身の回りの環境課題、前回掲げた3つの古賀市のあるべき姿を振り返っての課題など)

※付箋に書いて貼ってもよい。良い所は黄色の付箋、課題は青色の付箋など、色を分けて整理する。また、「ワールドカフェ」(1名は固定で3名が随時別テーブルに回り、情報交換)による実施も検討。

⑥グループ代表者による報告・共有

グループで話し合ったことを発表し、グループ間で共有する。

(2) 第2回：古賀市の環境に関して「できること」を考える

①環境課題等の分類と共有

第1回で出た課題や良い点を事前に環境分野ごとに分類し、4つの模造紙に分けて整理したうえで、環境分野ごとの島(テーブル)を用意しておく。第1回で出た課題や良い点を環境分野ごとに紹介。

グループ1：自然環境

グループ2：生活環境、都市環境

グループ3：地球環境

グループ4：資源循環

②それぞれの立場で「できそうなこと」のアイデア出し

各分野の課題に対して「できそうなこと」を書き出し。あるいは、良い点を伸ばすため・守るために「できそうなこと」を書き出し。

環境分野ごとに整理した課題に対して、「自分ができそうなこと」、「地域でできそうなこと」、「古賀市ができそうなこと」にわけて自由に書き出し(書けないところは飛ばして良い)、一定時間が経ったら次の分野の島に移動して、前のグループが書いた模造紙に追記する。最終的に全ての島(環境分野)をまわる。

③「できそうなこと」の報告・共有

グループごとのファシリテーターがそれぞれ書いていることをまとめ、参加者全員で共有する。

(3) 第3回：新計画で目指す将来像をイメージし、施策を市に提言する

①施策と目指す将来像の『たたき』の紹介

第1回、第2回の結果を整理し、環境計画へ反映する場合の施策案のような形で整理しておく。また、特に意見が多かったキーワードなども整理し、市民目線でみ

た目指す将来像の案を整理しておく。この資料を使ってこれまでの振り返りを行う。

②『たたき』に関する意見交換・ブラッシュアップ

①の内容について、グループの人（または隣の人）と意見交換。その後、一人ずつ意見出ししてもらい、ホワイトボード等へ書き出し。

③ 完成した将来像等を市に提出

②の結果を踏まえて①の内容をブラッシュアップしたものについて、参加者全員の合意を頂いた上で、市民意見として古賀市に提出・受け取り。

以上